

平成29年度 第2回「一日体験ボランティア」

平成29年9月17日（日）実施の報告

「ワンちゃんネコちゃんふれあい譲渡会」のお手伝い

活動内容・・・フリーマーケットのお手伝い、迷子札作り、募金呼びかけ

主催の『ワン・ニャンを愛する会』は人と犬・ねこたちが共生できる環境と福祉の実現をめざす非営利の地域ボランティアグループです。毎年カルチュアロード内で身寄りのない犬・ねこの譲渡会を行っています。ボランティアは午前の部・午後の部と2回に分けて行われました。

今回は、ねこ20匹ほどの譲渡会になりました。

・午前の部 9：00～12：00

参加者 中学生 1名 高校生 5名 一般 1名 計 7名

・午後の部 12：00～14：00（強風のため、1時間短縮）

参加者 中学生 1名 高校生 4名 一般 3名（うち小学生1名） 計 8名

午前は9：00、午後は12：00に中三弘前店 正面入口で待ち合わせし、『ワン・ニャンを愛する会』代表の敦賀さんと会員の方へのご挨拶と自己紹介をした後、2～3名ずつ交代でカルチュアロード内を歩きながらのチラシ配り、フリーマーケットの呼び込み、迷子札作りや、ねこを見に来たお客様への対応などを体験していただきました。

フリーマーケットでは、ボランティアさんの元気な声に誘われて売上も上々だったようでした。（売上は新しい飼い主さんにもらわれるまでのえさ代・保護費、医療費に充てています。）チラシの効果もあってか、「ワン・ニャン」のブースは大盛況で、次々と人が訪れました。気になるねこをゲージから出して抱っこして気に入ったら飼えるかどうか、スタッフとの話合いになります。ボランティア体験者の中には自宅でねこを飼っていて、ねこをゲージから出し入れするお手伝いを出来る人もいました。

せっかくねこを気に入っても条件のクリアが出来ずにあきらめる人、気に入ったねこがいたのに一旦考えて戻って来た時にはもう他の飼い主が決まっていた、などありましたが、ボランティア体験していた時間内には9匹のねこの飼い主が決まりました。毎月青森市では譲渡会を行っているということで、そのことを聞いていくお客様もいらっしゃいました。

午後は強風のために体験ボランティアは1時間早く終わってしまいましたが、お客様は途切れることもなく、ねこを見て笑顔で帰っていかれます。ボランティア体験者の感想も「ねことふれあえてよかった」「ねこが安心した顔で引き取られてよかった」「かわいかった」などねこに癒されていたようです。今後参加したいボランティアとして「また動物関係のボランティアをやりたい」という意見が多かったのですが、「介護施設」、「募金活動」という方がいました。

今回のボランティアを一つのきっかけにして、これからも色々なボランティアに挑戦して欲しいと思います。